

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第5学年 「図画工作（日本文教出版）」

35時間（70%）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点
1	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞	心のもよう	思いのままにかいた形や色を見ながら、自分の気持ちを見つめ表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、工夫して表す。	2時間	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	(1)ア 絵 【選択】	絵の具のスケッチ	身近な場所やものを見て、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、よいと感じた印象や思いを絵に表す。	2時間	・作品の大きさや扱う用具を制限することで、時間削減できるよう配慮する。
2 ～ 4	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞	のぞいてみると	穴を開けた段ボールに差し込む光の様子から表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して表す。	5時間	・作品の大きさや扱う用具を制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	(1)ア 工作 【選択】	ミラクル！ミラーステージ	鏡の面や白さや不思議さを生かして、映り方や見え方を試しながら、形や色などの造形的な特徴を捉え、材料の組合せ方を工夫して立体に表す。	5時間	・作品の大きさや扱う用具を制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
5	B鑑賞 (1)ア	カードを使って ～カードをつくって～	自分たちでつくったカードを使って、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、感じたことや思ったことを伝え合い、よさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める。	1時間	・題材「心のもよう」や「絵の具のスケッチ」で製作したカード等を活用する。
	【選択】	カードを使って ～アート・カードで～	アート・カードを使って、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、感じたことや思ったことを伝え合い、よさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める。	1時間	・県立近代美術館や県立館林美術館のアートカードを活用する。
6 ～ 8	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞	形が動く 絵が動く	動きが連続して見えるアニメーションの仕組みを生かして、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表現を工夫して楽しい作品をつくる。	5時間	・デジタルカメラやタブレットPCなどのデジタル機器を活用する。
	(1)ア 工作 【選択】	使って楽しい焼き物	目的や用途に合わせて発想し、焼成に適した粘土や釉薬などを用いて、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、つくり方を工夫して楽しく使える焼き物をつくる。	5時間	・学校の施設や地域の実態に応じて実施する。
9 ～ 11	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞	糸のこすいすい	電動糸のこぎりの使い方を工夫して自由に切り分けたいような形の板に切込みを入れ、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、組み合わせて立体に表す。	5時間	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・ニス塗りの工程を省くことで、時間削減できるようにする。
	(1)ア 立体・絵 【選択】	でこぼこの絵	薄い板材を重ねてできる、でこぼこの面白さから表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、構成の美しさなどの感じを考え、自分の思いに合わせて工夫して絵に表す。	5時間	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・図工室等に残っているペニヤ板の端材を活用する。
12 ～ 14	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞	消してかく	コンテで塗り込んだ画面を消しゴムで消しながら現れる形から表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、自分の思いに合う表し方を工夫して絵に表す。	6時間	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	(1)ア	言葉から思いを広げて	詩や短歌、物語などの言葉からにじみ出る雰囲気や感じ取った思いが伝わるように、画面の構成を考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。	5時間	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	絵 【選択】	まだ見ぬ世界	心に留まる写真から、まだ見たこともない世界の様子を想像し、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。	5時間	・作品の大きさや扱う用具を制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
		ほり進めて刷り重ねて	彫ったり刷ったりしながら、形や色などの造形的な特徴を捉え、表し方を工夫して彫り進み木版に表す。	5時間	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・彫り進み版画の構造や進め方が理解できるよう、段階を追った参考作品を提示する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。

15	A表現 (1)ア (2)ア B鑑賞	光と場所のハーモニー ～暗い場所で～  2時間	光と場所の特徴を基に、光を使って空間を変化させる方法を思い付き、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、活動を工夫して美しい空間をつくる。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
	(1)ア 造形遊び 【選択】	光と場所のハーモニー ～明るい場所で～  2時間	光と場所の特徴を基に光を使って空間を変化させる方法を思い付き、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、活動を工夫して美しい空間をつくる。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
		あんなところがこんなところに見えてきた  2時間	身近な場所の特徴から発想を広げて、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、いろいろな材料を活用し、工夫して楽しい空間につくりかえる。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
16 ～ 18	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞	立ち上がれ！ワイヤーアート  5時間	針金を曲げたり立たせ方を工夫したりして形を変えながら、形などの造形的な特徴を捉えて立体に表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	(1)ア 立体 【選択】	わたしのいい形  5時間	粘土などの塊に触れ、感じたり思い浮かんだりしたことを、手や用具の使い方を工夫して彫って、形などの造形的な特徴を捉えながら立体に表す。	5	・木彫風粘土や石けんなど、加工しやすい材料を使用する。  ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
19 ～ 21	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞	伝え合いたい思い  5時間	大好きな場所のよさや思いを伝えることができるように、形や色などの特徴を捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して表し紹介する。	5	・扱う材料を制限し、時間削減できるよう配慮する。  ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	(1)ア 工作 【選択】	わくわくブレイランド ～ビー玉のぼうけん～  5時間	木の板を使って楽しく遊ぶゲームを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。  ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
		わくわくブレイランド ～はじいてプレイボール～  5時間	ビー玉をはしく仕組みから楽しく遊ぶゲームを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。  ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。

#### ※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

- ・例えば、工作の題材として、「のぞいてみると」と「ミラクル！ミラーステージ」のいずれかを選択して実施する。  
など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、製作時間の短縮を図る。

○題材によっては、乾燥に時間がかからない、油性ペンや色鉛筆、クレヨンなどの用具を使用する。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、児童が選択して製作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で言うことが考えられる。

○振り返り（製作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞するなどの工夫をすることが考えられる。友達の作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して児童に返す。